

春日山城絵図



【春日山城 御城印】



(市ホームページ)

価格：300円
 来城の記念となる御城印を頒布しています。
 詳しくは、市ホームページ(文化行政課)をご覧ください。上越市教育委員会文化行政課までお問合せ下さい。(TEL:025-545-9269)
 ※来城の記念にいただきたいことから、郵送での頒布は行っていません。



可憐な花を咲かせるカタクリ



うす紫色の花が初夏を告げるシャガ



二の丸の一本イチョウ

春日山巡りコース

※上越市観光ガイド(有料)をご希望の方は、希望日の2週間前までに(公社)上越観光コンベンション協会へお申込み下さい。(TEL:025-543-2777)。

☆三郎景虎屋敷コース

謙信公銅像前→三の丸(米蔵・三郎景虎屋敷)→二の丸→本丸→大井戸→景勝屋敷→大井戸→本丸→毘沙門堂→直江屋敷→千貫門→春日山神社(所要時間 徒歩約1時間)

☆千貫門コース

春日山神社→未明詩碑→未明父母の碑→千貫門→(空堀)→直江屋敷→毘沙門堂→本丸→大井戸→橋台→景勝屋敷→御成街道→二の丸→三の丸(米蔵・三郎景虎屋敷)→謙信公銅像前(所要時間 徒歩約1時間30分)

☆どのコースも山道を通るので山歩きができるスタイルで。 ☆春日山のような山城は自然の宝庫。

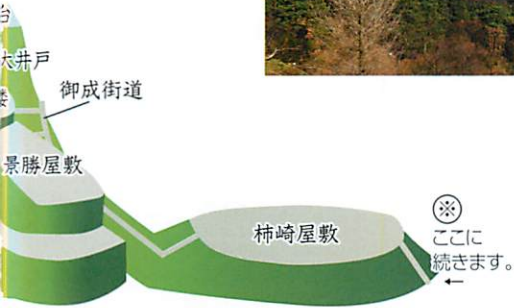
春日山城跡本丸からの眺望



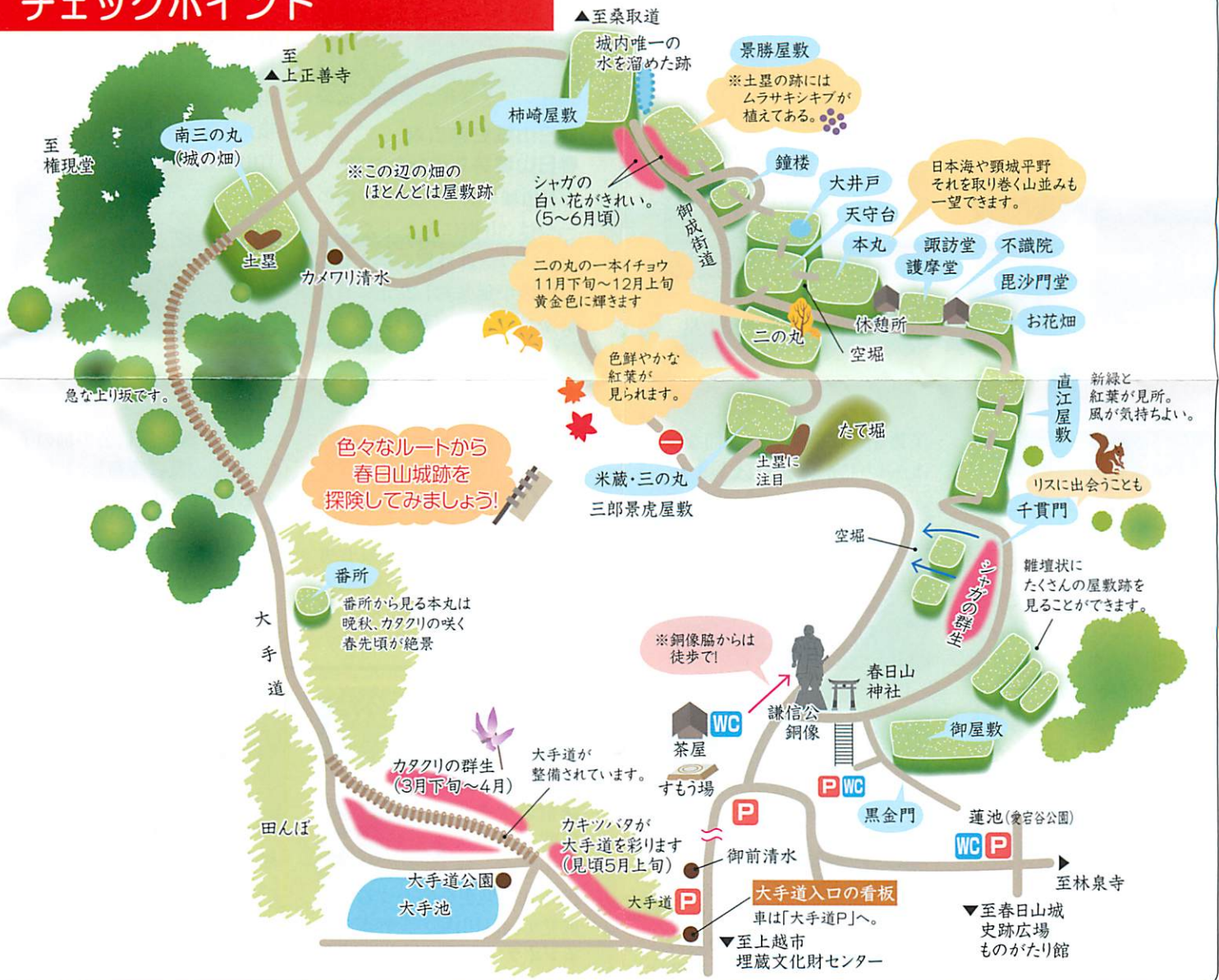
【春日山城の支城・砦跡(一部)】

旗持城(柏崎市)・柿崎城跡(柿崎区)・小野城(柿崎区)・猿毛城(柿崎区)・顕法寺城(吉川区)
 雁金城(頸城区)・城山狼煙場(大島区)・虫川城(浦川原区)・直峰城(安塚区)・大間城(三和区)
 池舟城(牧区)・北方城(高士地区北方)・白看板城(清里区)・京ヶ岳城(清里区)・焼山城(板倉区)
 箕冠城(板倉区)・黒田城(金谷地区黒田)・トヤ峰砦(金谷地区下正善寺)・宇津尾砦(金谷地区宇津尾)
 城ヶ峰砦(谷浜・桑取地区中桑取)・日の入城(名立区)・鳥坂城(妙高市)・鮫ヶ尾城(妙高市)

た春日山



チェックポイント



☆大手道コース

大手道入口→大手道→南三の丸→柿崎屋敷→景勝屋敷→大井戸→本丸(柿崎屋敷→御成街道→本丸)
 (ここまでの所要時間 徒歩約1時間)
 ここから自由に下りのコースを選んでください。

☆謙信公コース

春日山城史跡広場・東城砦・ものがたり館(約40分)→春日神社→林泉寺・宝物館・謙信公墓所(約30分)→蓮池(愛宕谷公園)→黒金門→春日山神社石段下→春日山神社
 (ここまでの所要時間 徒歩・見学を含めて約2時間)
 ここから千貫門コースで本丸へ

然観察も楽しみましょう。

☆春日山はみんなのもの、いつもきれいに。ゴミは持ち帰りましょう。

本丸・天守台

日本海と頸城平野の眺望がみごと。



毘沙門堂

謙信公が出陣前に戦勝を祈願した所。



景勝屋敷

謙信公の跡を相続した上杉景勝の屋敷跡。



大井戸

どんな渇水でも涸れることなく今も満々と水をたたえる大井戸。



直江屋敷

上杉家の重臣で大河ドラマ「天地人」の主人公、直江兼統の屋敷跡。



千貫門

どの絵図にも描かれている門跡。



三の丸

米蔵、三郎景虎屋敷跡や土塁

がある。三郎景虎は「御館の乱」で悲運の死を遂げた武将。



春日山神社

謙信公を祭神とし、旧高田藩士小川澄晴が浄財を募り、祭主となって創建したもの。日本近代童話の父と呼ばれる小川未明は澄晴の長男。



春日山城史跡広場

春日山城跡ものがたり館

春日山城の持つ大きな特徴の一つは、山裾に堀と土塁からなる城の一番外側の構えである総構が延長約1.2kmに亘り築かれたことがあげられる。

春日山城史跡広場では、復元した堀や土塁を見ることができ、「ものがたり館」は映像で謙信公の生涯と春日山城のなりたちについて学ぶことができ、展望室からは春日山城の大きさを体感できる。



〈問い合わせ〉TEL.025-544-3728

※日本百名城スタンプラリー
スタンプ設置所
(休館日は埋蔵文化財センターに設置)

春日神社

越後守護上杉氏の氏神。春日山城築城のとき鬼門神として山頂から遷座したと伝えられ、春日山城の名前の由来となった。



林泉寺

謙信公の祖父・長尾能景が父の菩提を弔うために創建した長尾氏の菩提寺。謙信公は7歳から14歳まで、名僧・天室光育のもと文武の修行を積みました。戦国の武将としては教養が高く信仰心が深いのはこの時代に培われたものです。惣門は春日山城から移築したといわれ、山門は鎌倉時代の様式を取り入れた大正14年(1925)建立の名作。墓地には謙信公や堀家三代の墓、川中島合戦の死者の供養塔があります。境内は400年を経た少年謙信公の息づかいが聞こえるようです。

宝物館には謙信公の書簡などゆかりの品が展示されています。



林泉寺山門

御館跡 (御館の乱の舞台)



天正6年(1578)に謙信公が亡くなると、養子である上杉景勝と三郎景虎が跡目を争ったのが御館の乱。三郎景虎のたてこもる御館(前関東管領上杉憲政の館)を

景勝軍が総攻撃し落城。この乱で、安国寺・徳寺などの名刹や府中の町6000軒が焼けたと伝えられています。

三郎景虎は北条氏康の七男で、越相同盟の人質だったものを謙信公が養子とした人で、美男であったといわれています。

一方の景勝は謙信公の姉の子で、御館の乱に勝利し、上杉家の家督を相続しました。景勝の家臣として活躍したのが直江兼統です。その後、景勝と兼統は上杉家繁栄に大きな功績を残しました。

越後上越 謙信公と春日山城展

会場:上越市埋蔵文化財センター

謙信公やその居城・春日山城を中心に、戦国時代の歴史を紹介する企画展です。春日山城の全容が分かるジオラマの展示をはじめ、謙信公の生涯をタッチパネル等で詳しく紹介しています。



『越後上越 上杉おもてなし武将隊』上杉謙信公を中心とした武将たちが上越市埋蔵文化財センターを本陣として、春日山城跡をはじめ、市内の観光施設やイベント会場で観光客のおもてなしや演武をして、上越市の観光PR活動を行っています。

謙信公祭
(毎年8月下旬開催)

鎧兜に身をつつんだ武者たちが練り歩く出陣行列や、出陣の儀式である武禱式が行

われます。夕闇せまるころ篝火のなかで行われる川中島合戦の再現は戦国絵巻そのもの。そのほか献納米合戦や大民踊流し、物産展などが行われます。



出陣行列



川中島合戦の再現